

(ii) 湯野温泉(伊達郡)

飯坂温泉と同様地震直後湧出量の増加と白濁現象あり濁りたるは飯坂と同様の程度並に経過なり、湧出量は一般に多く平均2倍、最も多き所にては略3倍の増加である。同地内にては同様湧出量は漸減を示しつつあり、温度は變化なく前野屋旅館(摺上川畔)にて60度(湧出口)なり。

(iii) 天王寺(信夫郡) 穴原(伊達郡) 兩温泉共飯坂湯野温泉の北方(摺上川の上流)約2軒の地點にあるも湧出量水色及び温度何れも變化なし前記温泉地域一帯共震度は強震で昭和8年3月3日の三陸沖の地震に比較し略同程度なるも、震動時間少く地震に依る被害全く無し。(以上高木技手調査)

二. 地震被害 縣保安課調査の地震被害状況前表の如し。

昭和13年 福島縣鹽屋崎沖地震被害調査報告
5月23日

福島測候所 會津出張所

猪苗代町 福島測候所會津出張所廳舎の内壁に南北の龜裂多く生じた。町内にては壁の龜裂は無數にて殊に土藏に多い。煙突の倒潰2ヶ所あり。本町酒造業酒井庄吉氏宅のものは高さ約8間位のもの基部約2間位を残して屋根の所より殆ど北方に崩壊し、通路を距て、隣接せる猪苗代煙草專賣所の倉庫の屋根を破壊す。

他の一つは新町味噌醬油雜貨商別府幸吉氏方煙突高さ約9間4尺のもの上端約8尺位有形の原形のまま倒潰して南方のトタン屋根を約1間四方打ち抜いて落ちた。

其の他猪苗代郵便局區内にて電話の障碍15件あり。又道路の被害は川上温泉より數町先の縣道約3~4間陥落缺潰した。

尙會津出張所にて觀測せる餘震5月中には有感7回、無感188回あつた。